

熊本経済同友会

第28回熊本フォーラム第4分科会

渋滞ゼロのまちを目指して：快適・安全なまちづくり

～渋滞解消への取組みを契機とし、選ばれる熊本について議論する～

熊本は現在、まちづくりの大きな転換期を迎えており、中でも交通渋滞の解消が喫緊の課題となっている。

熊本の新たな都市の価値を創出するため、多角的な視点で課題を捉え、渋滞解消をはじめ、我々で出来ることを考える。

座長 佐藤 達郎 [株式会社 谷脇ビル]

副座長 都 えみ [株式会社 グローカル・クラウドファンディング]

日時 2025年10月10日（金）13:15～17:30

会場 玉名市民会館 マルチホール

担当 まちづくり委員会

日程（所要）	内 容
13:15	開会
第 1 部 13:20～14:15 (55分)	web講演：渋滞解消に向けて ～熊本の喫緊の課題である渋滞解消への知見を得る～ 【演題】公共交通を徹底的に活かしたまちづくりの実践のために～熊本で出来ること、すべきこと～ 【講師】東京大学大学院 新領域創生科学研究科 特任教授 中村 文彦 さま
14:15～14:30(15分)	質疑応答
14:30～14:50(20分)	参加者意見交換
14:50～15:00(10分)	休憩
第 2 部 15:00～16:10 (70分)	パネルディスカッション：「国際都市熊本」のまちづくりに向けて ～外からの視点、先進事例に学ぶ～ 【登壇者】 ・(株)小倉縞縞 専務取締役 築城 弥央 さま ・(株)ひらく 代表 染谷 拓郎 さま ・福岡地域戦略推進協議会 ディレクター 片田江 由佳 さま
16:10～16:20(10分)	休憩
第 3 部 16:20～17:20 (60分)	参加者ワークショップ：～議題ごとにディスカッション～ ◆ ディスカッション① 渋滞解消の実現と公共交通を活かしたまちづくり ◆ ディスカッション② 新庁舎整備を契機とした都市圏（熊本市中心市街地）活性化に向けたまちづくり ◆ ディスカッション③ 外国人居住者等の増加も踏まえた地域文化の発掘・活用と発信によるまちづくり ◆ ディスカッション④ 持続可能な都市成長のための新たな産業や価値を生み出すまちづくり
17:20～17:30	まとめ・閉会

※ 17:30より5分程度事務連絡

第1部：web講演

〔13:20～14:30〕1時間10分

① 中村 文彦 (なかむら ふみひこ) 氏



東京大学 大学院
新領域創成科学研究科
特任教授

略歴

1985 東京大学工学部都市工学科卒業
1989 東京大学助手
1991 工学博士
1995 横浜国立大学助教授
2004 横浜国立大学教授
2021 東京大学特任教授

- 〇 都市交通計画、スマートモビリティ、MaaSなど、次世代の都市・地域づくりに不可欠な分野で国内外から高く評価されている研究者。東京大学をはじめとする複数の大学で教鞭を執り、政策提言や実証実験にも積極的に関わってこられている。
- 〇 特に人口減少や高齢化が進む地域社会において、持続可能な交通インフラの再設計や、地域経済と連動したモビリティ戦略の構築に注力されており、内閣府SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）などの国家プロジェクトにも参画。
- 〇 近年の主な著書
「都市交通のモビリティ・デザイン」サンネット出版、2016（単著）
「バスがまちを変えてゆく」IBS出版、2016（共著）
「都市交通計画第三版」技報堂出版、2017（共著）
「ストリートデザイン・マネジメント」学芸出版社、2019（共著）
「余韻都市 ニューローカルと公共交通」鹿島出版会、2022（共編著）
「MaaSがよくわかる本」秀和システム出版、2022（共著）
「ピークレス都市東京」近代科学社、2023（共著）

第2部：パネルディスカッション

〔15:00～16:10〕1時間10分

① 築城 弥央 (ついき みお) 氏



株式会社 小倉縞縞(しましま) 専務取締役

- 〇 北九州市の伝統工芸品である小倉織の普及による地域の活性化に奔走。昭和初期に途絶えた小倉織を、1980年代に復元した伯母で染織家の築城則子氏の思いを継ぎ、海外に広く発信している。
- 〇 台湾の日系企業での勤務経験あり。

② 染谷 拓郎 (そめや たくろう) 氏



株式会社 ひらく 代表

- 〇 日本出版販売(株)の100%子会社
- 〇 「生活者起点で場を創り、豊かな時間を提供する」をコンセプトに、本や書店から広がる豊かな場のプロデュース事業を展開（「文喫」事業、プロデュース事業、公共プレイス企画事業）

③ 片田江 由佳 (かたたえ ゆか) 氏



福岡地域戦略推進協議会
部会統括・総合調整ディレクター

- 〇 福岡市出身。東京理科大学大学院理工学研究科建築学専攻修了。(株)産学連携機構九州（アイランドシティ・アーバンデザインセンター）、公益財団法人福岡アジア都市研究所を経て、2020年に独立。キャリア一貫して、産学官民の共創によるまちづくりを推進。2017年より福岡地域戦略推進協議会に参画。
- 〇 特に長期戦略策定や公共政策と連動した事業化支援、市民共創型のリビングラボ企画運営を担当。
- 〇 市民活動として福岡のまちなか公共空間を楽しむ福岡ピクニッククラブを立ち上げ、講演等を行う